横浜障害児を守る連絡協議会・横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター 共催

横浜の幼児期・学齢期の障害児支援について

―― 親の会と親の役割 ――

子どもを社会の中核にすえた国の少子化対策が打ち出されています。そこには、時代の変化に、制度や法律を平行させていく難しさが見えます。今回は、長らく福祉の現場で障害児支援にかかわってきた講師の方から、幼児期・学齢期の障害児の支援について、また親の会の役割、親御さんの役割について学びます。

講 師： 遠 藤　剛　氏

- 埼玉県内社会福祉協議会、都内病院ソーシャルワーカー
- 横浜市在宅障害者援護協会(現横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター)にて地域作業所、活動ホーム、グループホーム等の設置･運営支援
- つるみ地域活動ホーム幹副施設長、地域療育センターあおば相談課長を経て同センター長
- 保護者とともに放課後等デイサービス事業所を立ち上げ、現在に至る

主 催： 横浜障害児を守る連絡協議会
横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター

後 援： 横浜市心身障害児者を守る会連盟

日 時： 2024年 3月7日(木)
午前10時15分～12時30分　9時45分開場

会 場： 障害者スポーツ文化センター
横浜ラポール 1階　ラポールシアター
(横浜市港北区鳥山町 1752)

申込み期間： 2月1日(水)～3月1日(金)

会場定員： 250名　※ 来場形式のみ

■ 参加費： 無 料

裏面に申込書があります　締切 3月1日(金)

お問合せ
横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター　担当：笹目・萩原・笠井
電話: 045-681-1211　FAX: 045-680-1550